

# 平成20年7月教育委員会定例会会議録

## 付議事項

### 議案第12号 平成21年度和歌山県立高等学校の学科の改編（案）について

県立学校課長から、県立高等学校の学科の改編（案）について、橋本高等学校の普通科における探求コース及び総合コースの「コース別募集」を廃止し、普通科として募集すること、粉河高等学校の人文探求科の募集を停止すること、田辺高等学校の自然科学科は併設の田辺中学校からの進学者のみとし、入学者選抜による募集は行わないこと、の説明があった。

委員から、粉河高等学校人文探求科の募集を停止する理由について質問があり、県立学校課長から、高等学校の通学区域の撤廃による志願者の減少や普通科を志望する生徒の増加等により募集停止を行うとの回答があった。

委員から、来年度における当該3校のクラス数について質問があり、県立学校課長から、定員募集については各地域における生徒数の増減等を勘案し、関係機関と協議をしているとの回答があった。

委員長から、生徒の能力や進路に応じるよう、多様な学科の選択肢があることが望ましいが、多岐にわたって教えるという教育力を維持するためには、各分野にわたって技量向上を図る必要があるとの意見があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

### 議案第13号 平成21年度和歌山県立中学校生徒募集定員（案）について

東中小中学校課長から、県立中学校募集定員（案）について、5校とも2クラス80名の募集定員としたいとの説明があった。

委員から、日高高等学校附属中学校（以下「附属中学校」という。）について、日高地方からの進学状況や来年度以降の志願者数の見通しについて質問があった。小中学校課長から、日高地方では、同地方以外へ進学している生徒を地元校へ進学させたいという要望が強く、附属中学校に対する信頼や期待に応えていきたいとの回答があった。

委員から、附属中学校や日高地方以外への進学に伴う地元中学校への影響について質問があった。小中学校課長から、入学者の減少により数人の差で標準学級編制基準を満たすことができず、学級数が減少したケースがあるとの回答があり、教育長から、数年後には、日高地方では1学年1学級の中学校がほとんどとなり、1学年2学級の編成を維持した場合の附属中学校が最大規模の中学校となる見通しであるとの説明があった。

委員長から、教育環境を充実させるため、地域活性化と人材育成の観点から、日高地方に限らず県内における教育の機会均等などについて、今後とも検討・議論する必要があるとの意見があり、審議の結果、原案のとおり決定した。